

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 1 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	34735003080		
法人名	北広島町社会福祉協議会		
事業所名	グループホーム松籟荘		
所在地	広島県山県郡北広島町川小田75		
自己評価作成日	平成23年11月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473500308&amp;SCD=320">http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473500308&amp;SCD=320</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年11月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・毎日の散歩と入浴</li><li>・隣接している高校と交流会がある</li><li>・ホーム祭り（納涼会）を家族、地域の方との交流や運営に対しての協力への感謝を込め行っている</li><li>・広い畑に野菜作りを楽しめる（サツマイモ植え、収穫時に障害者支援ハウスのメンバーと一緒に交流を図っている）</li></ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム松籟荘（以下、ホーム）は、中山間地区にありますが、周りには役場支所、スーパーマーケット、学校、警察官駐在所等があり、利便性に恵まれた場所にあります。ホームは、1ユニット6人定員の2ユニットで、少人数で家族的なケアに取り組んでおられます。また、公設民営のため、町民にとって利用しやすい料金に設定されています。毎日の散歩、入浴が日課となっています。室内の温度や湿度を細やかに調節し、薄着でも過ごせるよう配慮して、健康管理に留意されています。地元の高校との交流は、散歩時のあいさつを含め、日常的に交流されています。授業の一環として高校生が来訪したり、畑づくりの協力があつたりします。また、高校文化祭の招待を受け、ホーム納涼会に協力してもらするなど、入居者の楽しみの一つとなっています。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員が介護される立場で考えた「居心地の良い、笑顔あふれるホームを目指します」の理念を掲げ、毎月の職員会議で唱和して共有、意識しながら日々を過ごしている。	どのようなケアを受けたいか意見を出し、職員全員で話し合い、具体的で分かりやすい理念を作成されています。理念をホーム内に掲示したり、毎月の職員会議等で確認したりして周知されており、職員に浸透していることが確認できました。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	玄関をオープンにし、気軽に立ち寄ってもらえるようにしている。毎日の散歩、買い物などで積極的にあいさつ等を行なっている。地域の行事に参加し、施設のお祭りに招待している。	ホームの周辺には、役場支所や学校、スーパーマーケット等があり、毎日の散歩や買い物を通して日常的な交流が図られています。また、年1回の納涼会では、ちらしを配布するなどして、地元高校や地域住民に参加を呼びかけ、一緒に開催されています。また、顔見知りとなった住民から、野菜等の差し入れがあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	サロンに参加している方にきていただいたり、隣の高校生が輝き学習としてきてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の情報や行政の動向など収集したり、施設の取り組んでいる状況などについて報告、話し合い、意見を聞かせてもらっている。	会議では、地区代表、民生児童委員、警察官、高校教諭、地域包括支援センター職員、家族等がメンバーとなって、おおむね2か月に1回開催されています。会議では、ホームの運営状況や課題について協議されています。現在、消防訓練等において地域の協力を得られるよう、体制の整備を提案されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進委員の中に地域包括センターの職員もおり、2ヶ月に1回、推進会議を行い情報交換を行っている。	地域包括支援センターを通して連携を図られています。また、町主催の地域ケア会議に参加したり、運営母体の社会福祉協議会と行政とのやり取りの内容を共有したり、情報を把握されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関のドアはオープン、施錠はしていない。具体的な行為を理解したうえで利用者の安全を第一に考え、利用者の状態により開放できない時があった。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、毎年研修を実施されており、職員に十分周知されています。入居者の安全確保のため、やむを得ず玄関の鍵をかけられたこともありましたが、現在は開放されています。地域住民と顔見知りの関係を築き、入居者の安全に配慮されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>行政集団指導や研修に参加し、日々意識に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常時の様子観察。ケア会議などで話し合い、日々意識している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>個々の事情があり、話を聞いたりすることがある。職員会議で学ぶ機会を作り活用できるよう支援している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年3回の家族会を実施。こられた時に、話を聞き入れている。利用者からの意見、不満、苦情はその都度聞き入れ、話し合い対応を策を考えている。</p>	<p>年3回実施される家族会は、情報交換や意見交換だけでなく、家族同士が顔見知りになり、交流ができるようになることを目的にされています。また、家族の来訪時には、日々の生活状況を写真やノートにまとめて報告されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の職員会議や毎日のミーティングで意見や提案を受け、運営に反映している。</p>	<p>毎月の職員会議や日々のミーティングで職員から意見が出されています。これまでに地元のパン屋のパンを朝食に取り入れたり、ユニット間の情報共有に全体ミーティングを始めたり、運営に反映された事例があります。また、職員の親睦を図るため食事会を企画したり、担当職員を決めて毎月お楽しみ会を実施したり、意見や提案がしやすい雰囲気づくりも行われています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の勤務状況を把握し、給与などに反映している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間研修計画に基づいた研修やケア会議、必要な研修会への参加。職員の質向上を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>電話連絡により、情報交換をしている。</p>		
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>家族、ケアマネの方に事前に意向などを聞く機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の事前見学、面接時に話を聴き受け止め、施設での生活等について不安や誤解のないようしっかり話をさせてもらう。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の訴えをよく聞き必要な支援を見極める。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>尊重した対応を心がけ、一緒に過ごすということが自然にできている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>施設行事、面会時などに日頃の様子を詳しく伝え、盆、正月その他にも外泊、外出の協力を得ている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や馴染みの人には、できるだけ面会にきてもらったり、馴染みの場所に出かけられるよう家族に協力を得ながら支援している。</p>	<p>墓参りや盆の帰省などを通して、なじみの関係が継続できるよう努められています。また、これまでの人間関係を大切に、家族の定期的な訪問や地域住民の訪問を働きかけておられます。入居者一人ひとりの日ごろの状況をノートに記録し、家族の来訪時に情報共有できるよう配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>負担にならない程度に話しをしてもらったり、職員が間に入って取りくつろいでいる。居間で過ごす時間が長くコミュニケーションがとれている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>家族の支えになるようフォローしている。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>ひとり一人のペースや状態の把握に努め、職員が共有できる機会を設けている。希望や意向が困難な場合は表情等で汲み取り本人本位となるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの思いや意向の把握に努めるとともに、朝夕のミーティングや引継ぎノートで情報共有されています。無理強いすることなく、入居者のペースで過ごすことを重視し、レクリエーションの他、園芸や畑作り、裁縫、調理などを入居者が率先して行っておられます。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人、家族、親しい方、ケアマネ等からの情報をもとに記録し、職員が共有、把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>個々の状態を把握し、小さな変化も見逃さないよう、報・連・相に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>会議で話し合い、家族の意向を反映し、課題を明らかにその人らしく生活できるよう計画を作成している。</p>	<p>職員全員が参画し、意見を出し合い介護計画を作成されています。日頃のケアの気づきを反映し、内容もきめ細かく作成されています。定期的に計画の見直しをされており、状況に応じて、見直し時期を短縮するなど、現状に即した計画となるよう取り組まれています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に記録し、情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>取り巻く状況に応じ、細かく支援ができるよう臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握し、できることを見極め支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医がおり、いつでも相談できるよう連携が取られている。月1回定期受診(冬期間は往診)。専門医への紹介もあり、主治医から家族に連絡していただくこともある。</p>	<p>主治医との連携を綿密にとる他、月1回定期的に受診し、健康管理に気をつけておられます。歯科等も必要に応じて受診されています。協力医療機関以外での受診は、家族の付き添いを原則にされていますが、難しい場合は、職員が付き添いをされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	主治医のもとで気軽に相談できる。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院した際、定期的に病院関係や家族と情報交換、連携をとっている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医との連携を密にし、入居者の状況を見ながら、家族・医師・職員と話し合い、本人の意向を大切に職員全員で意見統一し、ケアを行うよう努めている。	これまでに看取りを行った事例はありませんが、本人や家族の意向を尊重し、主治医及び家族と密に連携を図りながら、可能な限りホームで対応する方針を共有されています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	消防職員の指導により、救命救急講習を受け技術向上に努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防職員の指導により、地域の方を交えて消防訓練を年2回行っている。	ホームの近くに消防署があり、消防署職員の指導のもと、地域住民を交えた消防訓練を年2回実施されています。日頃から地域住民に声かけを行い、協力関係は築かれています。体制づくりについては、現在、運営推進会議に提案されている段階です。なお、居室にはスプリンクラーが設置されています。	災害対策については、日頃からの備えが重要です。地域住民、消防団等との協力体制を築き、万が一の場合に、スムーズに対応ができるよう引き続き検討していただくことを期待します。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を踏まえ、職員同士が注意しあって、言葉かけや対応に尊厳やプライバシーを傷つけない対応を心がけている。	入居者の尊厳とプライバシーへの配慮を意識し、言葉かけには留意しておられます。言葉づかいについて、職員同士で注意し合い、その場で改善するように取り組まれています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者本意を頭に入れ、自己決定のできる声かけを意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	全体の流れはあるが臨機応変に、心地よいスペース過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人の思いを大切に支援している。家族の美容院へ外出の協力もある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	施設の畑でできた野菜を使い、季節ごとの行事食も取り入れ、一緒に買い物準備から片付けまでを個々ができることをしている。	食事当番の職員が献立を考え、旬の野菜や食材を取り入れた食事を提供されています。また、ホームの畑で収穫した野菜や地域住民からの差し入れを調理したり、郷土食を提供するなど、入居者が食事を楽しめる工夫をされています。また、入居者も下ごしらえや配膳等を手伝わられています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の食事量などを把握し、水分をしっかりと、おいしく食べれるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、その状態に合わせた声かけや介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>ひとり一人の状況を把握し定期的な声かけや見守りで排泄の失敗を減らし、トイレでの排泄を支援している。</p>	<p>排泄の自立を促すため，一人ひとりの状況を把握し，定期的に声かけやトイレ誘導をされています。ほとんどの入居者が自立されていますが，夜間はリハビリパンツを使用される入居者もおられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ひとり一人排便パターンを把握し、飲食物の工夫を行ったり、体を動かし便秘予防につなげている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴が楽しみになっている。その中で個々の体調管理に配慮している。</p>	<p>毎日，夕方に入浴を実施されており，入浴の順番は特に決めず，その日の気分で入浴できるよう支援されています。入居者と職員が1対1で対話できる貴重な機会として入浴を捉えており，入居者の思いなどをゆっくり聞く大切な時間となっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の習慣や体調に合わせ、自分のペースで休んでもらえるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更、調整は主治医、薬剤師の指導のもと、正しく服薬できるよう職員は共有し、服薬確認、症状変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	体調に合わせてながら、気分転換ができるよう個々の力に応じてできることの手伝い、散歩や買い物、ドライブに出かけている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ほとんど毎日散歩にでかけているので日課となっている。家族の外出の協力もあり、積極的に利用者の行きたい所へ出かけるよう努めている。	天気の良い日はホーム周辺を散歩することが日課となっています。周辺には役場支所、スーパーマーケット、学校等があり、顔なじみになった地域住民と日常的にあいさつが交わされています。墓参りや外食なども家族の協力を得て支援されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族がほしいものは用意しており、本人がお金を使うことがない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話や手紙は自由であり、とりつくる支援をしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節ごとに折り紙等で、季節感を表すように壁などに飾っている。温度、湿度に気を配り外の景色を眺めながら居心地よく過ごせるよう工夫している。	床暖房や大型ストーブを設置されていません。細やかに温度や湿度を調節しながら健康管理に気をつけておられます。また、旧館には仏壇が設置され、新館にはレクリエーションが実施できる広いスペースがあることから、用途に応じて、お互いのユニットを行き来されています。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	自分の部屋より、共有場所で過ごすことが多くテレビを見たり、気の合う利用者同士話をしている		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた馴染みのものに囲まれるよう家族に協力してもらっている。	各居室に、洗面台、トイレがあります。また、クローゼットが設置されており、入居者自身が居室を整理されています。居室には、家族の写真や思い出の品が飾られています。寒くなり、コタツを持ち込まれている入居者の居室で、入居者同士が懇談されることもあります。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	ひとり一人できることやできないことをさりげなく援助して手すり等設置、安全で自立した生活が送れるよう支援している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>職員が介護される立場で考えた「居心地の良い、笑顔あふれるホームを目指します」の理念を掲げ、毎月の職員会議で唱和して共有、意識しながら日々を過ごしている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>ほとんど毎日の散歩、買い物を通して地域の方と挨拶を交わしたり、会話をする。地域の行事に参加したり、地域の方を施設の祭りに招待している。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域の方々にホームへ来ていただけるように声をかけている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>地区長、民生委員、駐在所員、家族、近隣者地域包括支援センター職員といったメンバーで2ヶ月に1回、状況報告、情報提供、などの話し合いを行なっている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>運営推進委員の中に地域包括センターの職員もおり、現状を理解してもらえよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	玄関をオープンにしている。利用者の動向を把握することを職員間で合意している。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	行政集団指導や研修に参加し、日々意識に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員会議の研修に取り入れ、職員全体で共有するようにしている。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	内容を説明しながら、質問を受け確認をとる。署名していただき、契約をしている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	年3回の家族会を実施し、意見、要望を受けたらすぐに検討し、改善を目指す。面会時にも聞き入れる関係作りをしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の職員会議や毎日のミーティングで意見や提案を受け、運営に反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の勤務状態など把握し、環境、条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間研修計画に基づき、研修、会議への参加。職員の質向上を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>電話連絡などにより、情報交換をしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>見学に来られた時や、入居面接時にはゆっくり話を聞き、安心してもらえる雰囲気づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学、面接時にしっかり話を聞き、施設での生活等について不安や誤解のないようしっかり話をさせてもらう。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	本人や家族の訴えをよく聞き必要な支援を見極める。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	尊敬の気持ちを忘れず、信頼できる関係づくりに努めている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	日頃の様子を詳しく伝え、盆、正月その他にも外泊、外出の協力を得、情報交換をしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	いつの時間帯でもいよいよ自由にできるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入ったり取りつくろっている。場合によってはユニット替えも行ったりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	家族の支えになるようフォローしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ひとり一人のペースや状態の把握につとめている。希望や意向が困難な場合は集団のひとりとして尊重して。いる		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族、親しい方、ケアマネ等からの情報をもとに記録し、職員が共有している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	小さな変化も見逃さないよう、報・連・相に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	本人の状況を把握し、状態に応じた介護計画になるよう家族の意見を聞き、理念に沿った介護計画を作成している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別に記録し、情報の共有に努めている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	取り巻く状況に応じ、細かく支援ができるよう臨機応変に対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域資源を把握し、できることを見極め支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	主治医がおり、いつでも相談できるよう連携が取られている。月1回定期受診(冬期間は往診)。家族へ主治医から連絡、専門医への紹介もあり、信頼関係を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	主治医のもとで気軽に相談できる。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院した際、定期的に病院関係や家族と情報交換している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医との連携を密にし、入居者の状況をみながら、家族・医師・職員で話し合い、本人、家族の意向を大切に職員全員で意見統一し、ケアを行うよう努めている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	消防職員の指導により、救命救急講習を受け技術向上に努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防職員の指導により、地域の方を交えて消防訓練を年2回行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員同士が注意しあって、言葉かけや対応に尊厳やプライバシーを傷つけない対応を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者本意を頭に入れ、自己決定のできる声かけを意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	全体の流れはあるが臨機応変に、心地よいスペース過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人の思いを大切に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	施設の畑でできた野菜や季節ごとの行事食も取り入れ、一緒に準備から片付けまでを個々ができることをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>各々の食事量などを把握し、水分をしっかりと、おいしく食べれるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、その状態に合わせた声かけや介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>ひとり一人の状況を把握し定期的な声かけ介助を行い、排泄の失敗を減らし、トイレで排泄するよう支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ひとり一人排便パターンを把握し、飲食物の工夫を行い、引継ぐようにしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴が楽しみになっている。なるべくゆったりと湯船につかり、リラックスできる時間を個々にとれるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の習慣や体調に合わせ、自分のペースで休んでもらえるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の変更、調整は主治医、薬剤師の指導のもと、正しく服薬できるよう職員は共有している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>体調に合わせてながら、気分転換ができるよう散歩や買い物、ドライブに出かけている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ほとんど毎日散歩にでかけているので日課となっている。家族との外出の協力もあり、積極的に利用者の行きたい所へ出かけるよう努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族がほしいものは用意しており、本人がお金を使うことがない。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>書ける方については支援している。電話も話ができる方には支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに折り紙等で、季節感を表すよに壁などに飾っている。温度に気を配り居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自分の部屋より、共有場所で過ごすことが多くテレビを見たり、気の合う利用者同士話をしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた馴染みのものに囲まれるよう家族に協力してもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ひとり一人できることやできないことをさりげなく援助して自立した生活を送ってもらえるよう努めている。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム松籟荘

作成日 平成24年2月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時に地域との協力体制について。	災害対策を地域住民・消防署と連携を取り構築し、共に防災訓練を実施する。	運営推進委員会のメンバーに地区代表者がおられ、その方を通して地区への働きかけを行い、組織体制作りをして行く。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。